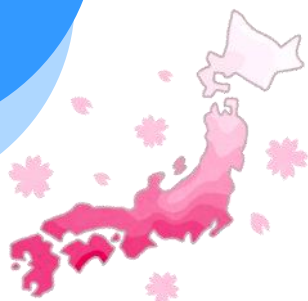


京極読書新聞

<第88号>

発行日 平成29年5月1日(月)
京極町生涯学習センター湧学館



「地図の楽しみ」

湧学館司書 野口 陽一

私は今年の4月当初に、小樽図書館から湧学館図書室に赴任してきました。同じ図書館だからと高を括っていましたが、様々な違いに戸惑いました。まず、予算が違います。人口一人当たりの資料購入額が、小樽より京極の方が約16倍も高いので、書棚に並ぶ本がとても新鮮です。そのほか、図書を選ぶ基準や並べ方、貸出・返却の手続きがそれぞれ違いますし、DVDの視聴覚ブースの操作は初めての経験です。ここで私は、湧学館に関して全くの初心者だということ、自覚しなければなりません。

前任地では主に小樽の歴史を調べていましたが、京極の歴史については、やはり全くの素人です。そこで「京極の歴史入門」を作ろうと思いつきましたが、これも考え違いでした。入門書を書くのは、たいていその道の達人なので、そんなこともあり、あまり最初からことを上段に構えずに、少しずつ京極の歴史を調べていこうと思います。

標題の件ですが、地図を見るのが私の楽しみの一つです。地図の移り変わりは、その街の歴史そのものを映し出しているともいえます。地図を見るうえでは、山や川の地形のほか、道路、鉄道、公共の建物、住宅などが重要な要素になるのですが、その点、京極はたいそう恵まれています。羊蹄山、尻別岳のほか、遠くにニセコや山々が連なり、尻別川、ワッカタサップ川などの大小の河川がいくつも流れています。また、脇方鉱山の興亡と重なり合うように、鉄道が敷かれ、後に廃線になっていった経緯に興味はつきません。

地図を見るほかに、地図をたよりに実際の町中を歩くのも楽しみの一つです。ましてや、晴れた日に羊蹄を望みながら散策するのは格別なものです。時には、消えていった校舎、線路、鉱山に想いを馳せるのも良いでしょう。

幸い湧学館では、種類の異なる京極の地図を見ることが出来ます。住宅地図はもちろんのこと、「京極町史」などの資料に複数の地図が載っています。1階の展示コーナーや2階の郷土史料コーナーでは、古い時代の大きな地図を展示しています。皆さん、京極の地図を眺めに是非、湧学館へお越しください。ご来館を心よりお待ちしております。



京極読書新聞は
毎月1日発行予定です





4月27日(木)から5月31日(水)まで、湧学館1階展示コーナーでいぬ・ねこの登場する文学作品を集めた展示「ワン!ニャン!どっちも大好き」を開催しています。

この展示は昨年12月に札幌市の道立文学館で行われた企画展をミニ巡回展として行うもので、文学館所蔵で所蔵している北海道ゆかりの作家・作品から「いぬ・ねこ」のシーンをパネルで展示し、ガラスケース内では表紙や挿絵に見え隠れする「いぬ・ねこ」を紹介しています。

パネルでは、小説や童話などの一部が読めるようになっていますので、立ち読み感覚でお楽しみください。絵本コーナーでは約50冊の絵本をお楽しみ頂けます。

「いぬ・ねこ」は身近な動物なので、展示を見るとさまざまな作品に登場していることがわかります。展示作品の中に、あなたのお気に入りの犬や猫は見つかるでしょうか?

展示コーナーで紹介されている資料を読みたい・貸出してほしいという場合は、図書カウンターへお気軽にご相談ください。



しおりづくりコーナーは、ひとり2枚まで。型抜きのかざりを用意しています。かんたんに出来ますのでお子様から一般の方までどうぞ♪



発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京極町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.jp>

